1.2 脱炭素社会構築に向けた再エネ等由来水素活用推進事業／脱炭素な地域水素サプライチェーン構築事業／
再エネ由来等水素を活用した自立・分散型エネルギーシステム構築事業

①水素エネルギーをフル活用して「カーボンニュートラルの実現」を目指す

YKK不動産株式会社（東京都千代田区／不動産賃貸業・管理業）

【HP】https://www.ykk.com/ 【備考】ー

赤文字：該当箇所 | 灰色文字：該当外

補助事業の紹介

補助事業名	脱炭素社会構築に向けた再エネ等由来水素活用推進事業
補助事業の概要	① カーボンニュートラルに向けた再エネ水素のあり方の検討等評価・検証事業（※委託事業） ② 既存のインフラを活用した水素供給低コスト化に向けたモデル構築・FS事業／実証事業 ③ 再エネ由来等水素を活用した自立・分散型エネルギーシステム構築事業 ④ 事業化に向けた既存サプライチェーン活用による設備運用事業
実施目的	脱炭素社会構築に不可欠な水素を地域資源である再生可能エネルギー等から製造し、貯蔵・運搬及び利活用することを支援すること。また、将来の水素社会を見据え、BCP活用など水素の特性を生かした事業を支援すること。
交付対象	地方公共団体	民間事業者・団体等
補助率	① ー ② ー ③ 指定都市以外の市町村、中小企業者：2/3 指定都市又は特別区、中小企業者以外の民間企業、その他：1/2 ④ 2/3

①水素エネルギーをフル活用して「カーボンニュートラルの実現」を目指す

事業の概要

補助金額	補助金額	約30,000万円
	補助率	2/3
導入設備	従前設備	なし（新設のため）
	導入設備	水素吸蔵合金
事業期間	稼働日	2025年5月
備考	導入台数	1式



水素吸蔵合金タンク



水素エネルギー供給エリアの全体像

事業の効果

エネルギーコスト

▲約99（万円／年）

投資回収年数

ー（年）

CO_2削減効果

約5（t-CO_2／年）

CO_2削減コスト

ー（万円／t-CO_2）

副次的効果

- **日本初の取組みである水素エネルギー共有システムを集合住宅に実装することで、エネルギー自給率95%を計画。**
- **停電時や非常時には蓄電池、燃料電池からの電力供給ができ、地域の防災拠点となる。**

事業者の声



右：小林 隼人｜**黒部事業所 施設開発・管理グループ　グループ長**

左：佐藤 孝浩｜**黒部事業所 施設開発・管理グループ　設備担当**

季節間エネルギーシフトを実現する中核技術として「水素吸蔵合金」を採用するにあたり、本補助事業の支援により、システム構築の実現に向けた基盤を整えることができました。深く感謝申し上げます。

今後は、運転実績に基づく性能検証を進めるとともに、エネルギー自給率やシステム全体の性能について評価を行い、その成果を論文等により広く公表してまいります。